

1 調査名称：平成27年度都心臨海部における新たな交通システムの導入検討調査（その2）

2 調査主体：横浜市

3 調査圏域：横浜市都心臨海部

4 調査期間：平成27年度

5 調査概要：

横浜市では、都心臨海部再生マスタープランの策定に合わせて、都心臨海部（横浜駅周辺地区、みなとみらい21地区、関内・関外地区、山下ふ頭周辺地区、東神奈川臨海部周辺地区）の回遊性向上や活性化を図るため、新たな交通システムの導入を検討している。

平成27年度の先行調査においてとりまとめた今後の検討方針を踏まえ、本調査は、まちづくりの視点などからLRTの導入効果を整理し、都心臨海部における将来的な交通動線について考慮したうえで、中長期的なLRT導入に向けたルート案を検討した。

また優先的な整備が望ましいルートを抽出したうえで、LRT導入と合わせて実施する関連施策案の整理や需要予測などを行った。

I 調査概要

1 調査名称

平成27年度都心臨海部における新たな交通システムの導入検討調査(その2)

2 報告書目次

第1章 都心臨海部におけるLRTなどの導入効果等の検討

1-1 LRTの導入効果の検討

1-2 交通等に関する現況・課題の整理

第2章 LRT導入ルートのご検討

2-1 導入ルートの検討

2-2 導入空間の検討

第3章 都心臨海部の交通のあり方に関する検討

3-1 LRT導入に向けた基本方針案

3-2 LRTの整備方針の検討

第4章 LRT導入に向けた施策展開に関する検討

4-1 関連施策の検討

4-2 具体的な整備に向けた実現策の検討

3 調査体制

該当なし

4 委員会名簿等：

該当なし

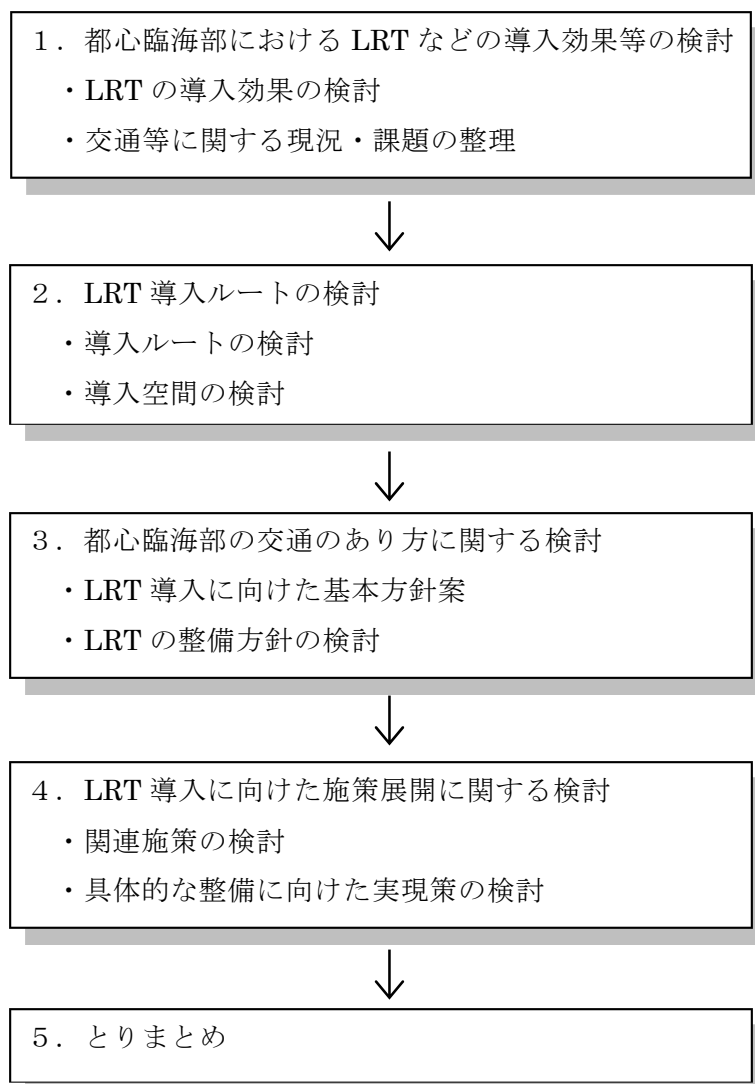
II 調査成果

1 調査目的

平成 27 年度の先行調査において、今後の検討方針として、当該地区のまちづくりの熟度や自動車交通の状況に合わせて段階的に整備することとし、短期的には 2020 年までに完成する施設への移動を支えるため、高度化バスシステムを導入することとした。

その結果を踏まえ、本調査は、横浜市都心臨海部再生マスタープランの計画範囲である横浜市都心臨海部（横浜駅周辺地区、みなとみらい 21 地区、関内・関外地区、山下ふ頭周辺地区、東神奈川臨海部周辺地区）を対象区域として、回遊性を高め、まちの賑わいづくりに寄与する中長期的な LRT などの新たな交通の導入に向けた必要な関連施策について検討することを目的とした。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

(1) 都心臨海部における LRT などの導入効果等の検討

調査項目	検討成果
LRT の導入効果の検討	<p>速達性などの交通の視点だけでなく、都心臨海部の活性化や、来訪者増による賑わいの創出、沿道のまちづくりにもたらす影響等のまちづくりの視点も加えて、LRT の導入により期待される効果について検討した。</p> <p>(図 1 表定速度の比較 (実態値))</p> <p>(図 2 LRT 導入効果の実績を踏まえた都心臨海部において期待される効果)</p>
交通等に関する現況・課題の整理	<p>都心臨海部外から都心臨海部内への来訪手段、あるいは都心臨海部内の回遊手段となる自動車や自転車、徒歩、公共交通等を対象に、現在の交通の流動状況を整理したうえで、将来の開発計画や、道路などの基盤整備を踏まえた将来的な交通動線を想定した。</p> <p>(図 3 自動車の将来導線の想定)</p> <p>(図 4 自転車の将来導線の想定)</p> <p>(図 5 歩行者の将来動線の想定)</p> <p>(図 6 公共交通の将来動線の想定)</p>

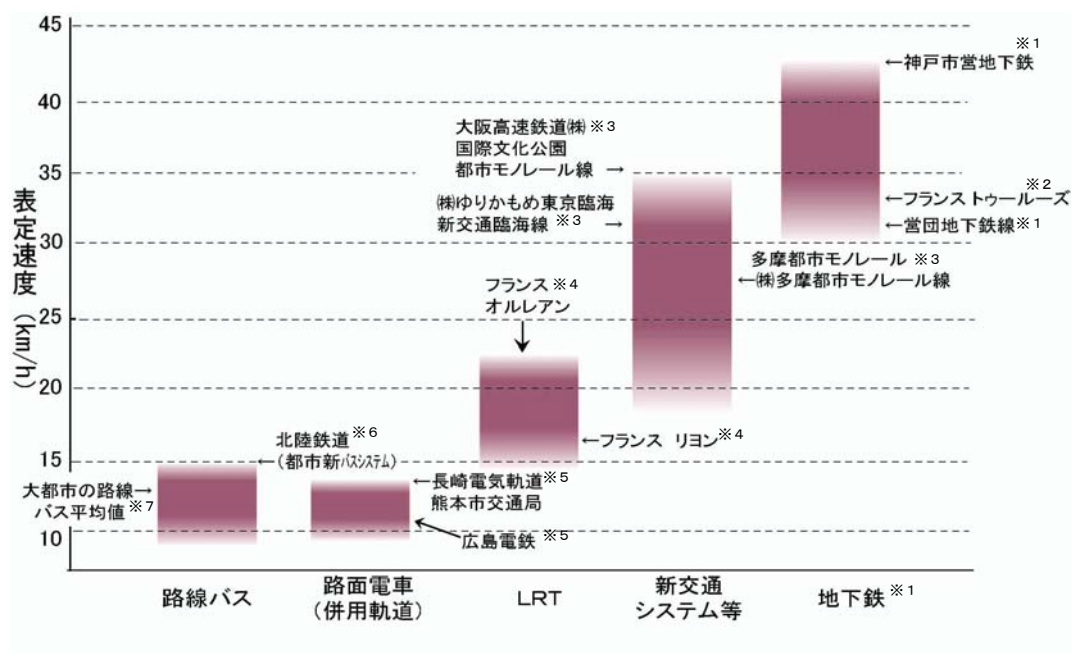


図 1 表定速度の比較 (実態値)

まちづくり等への効果
(LRT導入の実績)

LRT導入により
都心臨海部において期待される効果

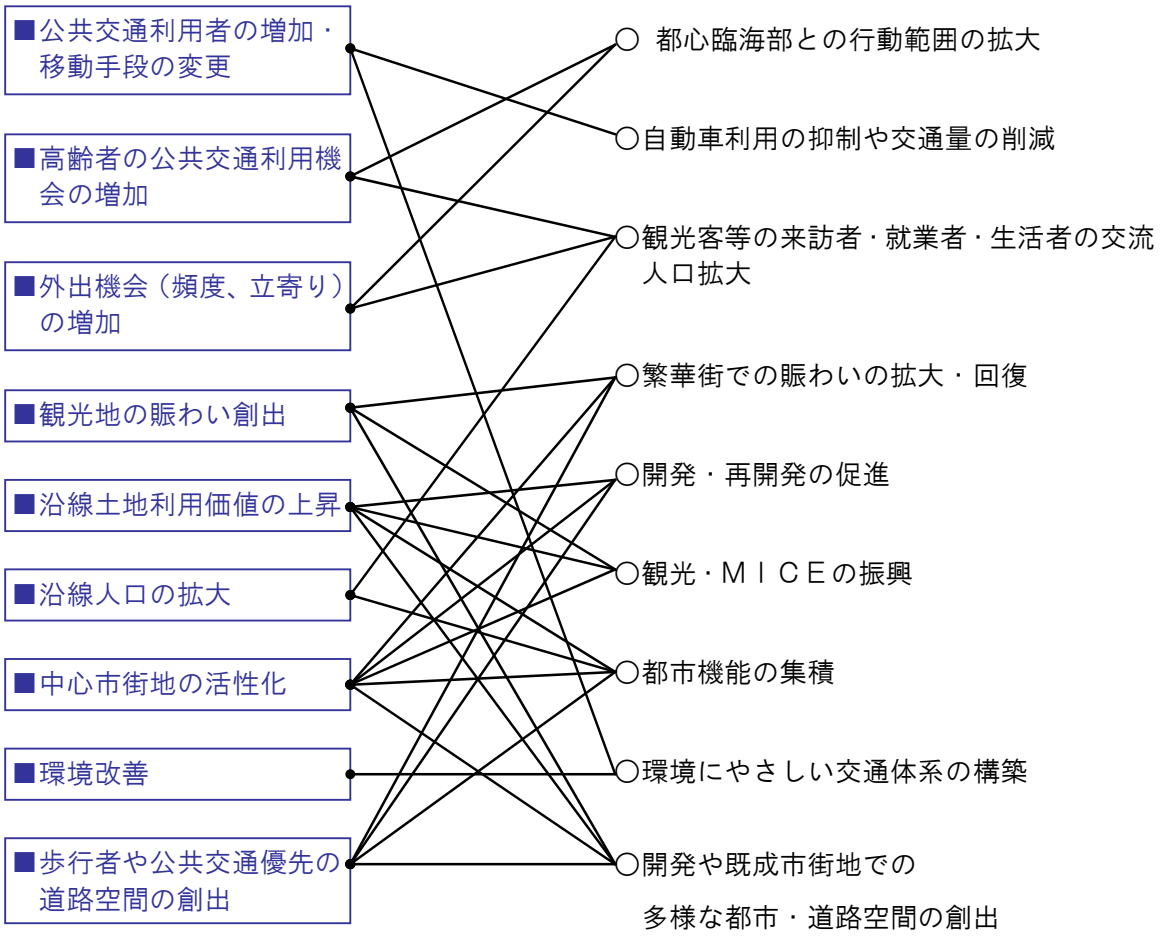
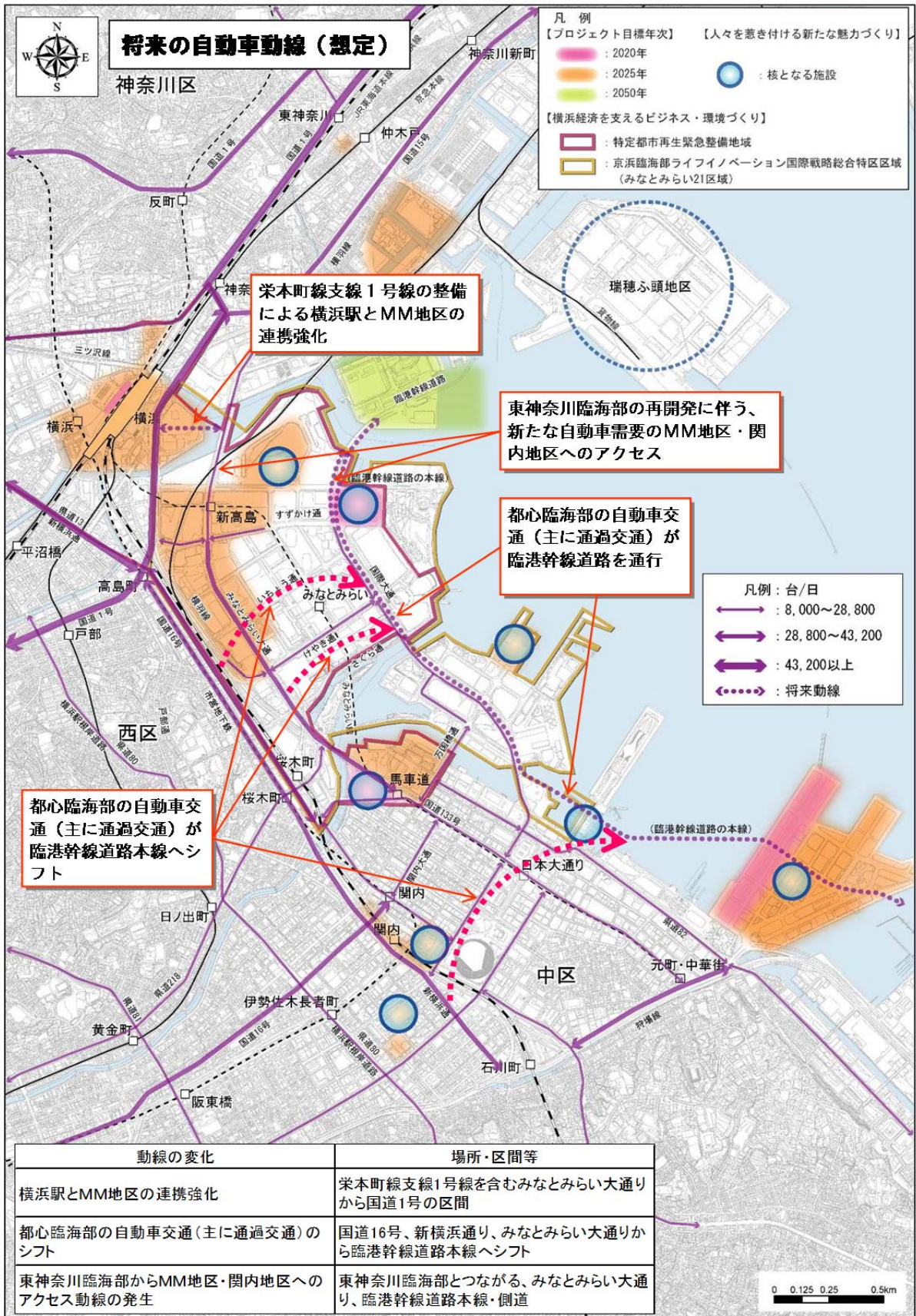
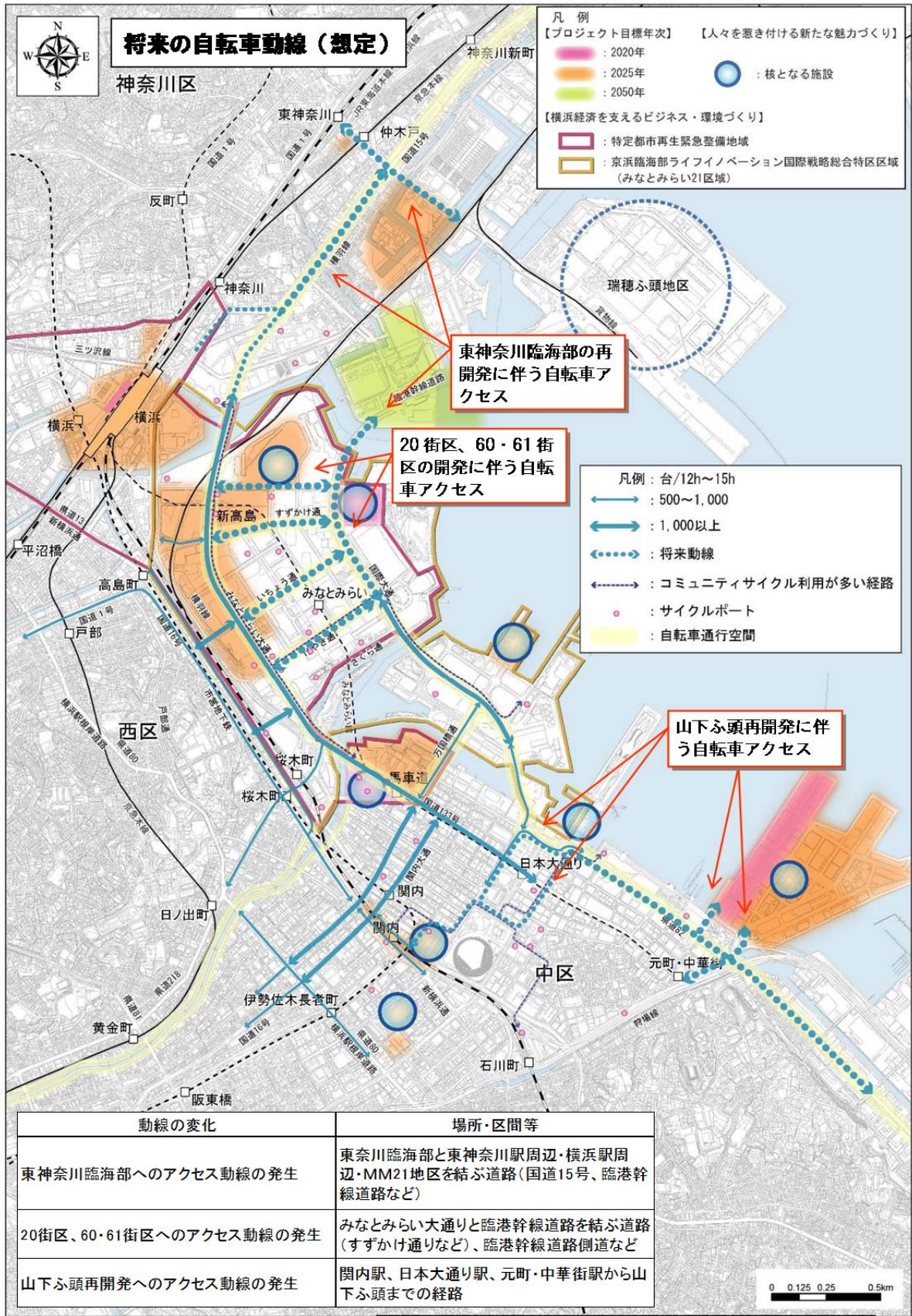


図 2 LRT導入効果の実績を踏まえた都心臨海部において期待される効果



：将来の基盤整備等を踏まえた自動車動線の変化

図 3 自動車の将来導線の想定



： 将来の基盤整備等を踏まえた自転車動線の変化

図 4 自転車の将来導線の想定



：将来の基盤整備等を踏まえた歩行者動線の変化

図 5 歩行者の将来動線の想定



図 6 公共交通の将来動線の想定